

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	高齢者日常生活用具給付事業				事業番号	011-058	
担当部署名	健康福祉局	局	長寿社会部	部	長寿支援課	課	

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4)高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現	
			有	取組の方向性	⑤高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
			無	取組	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	昭和 56 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	堺市高齢者日常生活用具の給付等に関する要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区		
6	事業の対象	要介護・要支援認定を受けているひとり暮らし高齢者等で、生活保護世帯又は市民税非課税世帯の方	対象数	単位
			約63,000	人
7	事業の目的	ひとり暮らし等高齢者の日常生活がより円滑に行われることを目的とする。		
8	事業内容	日常生活用具（電磁調理器、自動消火器、シルバーカー）の給付。 自己負担：生活保護世帯は0円。市民税非課税世帯は給付額の1割を負担。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	—		
10	公民連携・協働事業	—		

Ⅱ．事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	給付金額	千円	目標値	—	—	—	—
			実績値	124	134		
			達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		給付金額を指標に選定することで、利用ニーズを把握することができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		利用者の状況に応じて件数が変動するため目標設定はなじまず、実績値のみとしている。					

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	給付件数	件	目標値	—	—	—	
			実績値	7	8		
			達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		給付件数を指標に選定することで、利用ニーズを把握することができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		利用者の状況に応じて件数が変動するため目標設定はなじまず、実績値のみとしている。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	高齢者日常生活用具給付事業	事業番号	011-058
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量												
事業コスト			※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。								(単位：千円)	
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度				令和8年度	
			決算		決算		当初予算		決算		当初予算	
		事業費 (a)	278		124		320		134		284	
		国支出金	0		0		0		0		0	
		府支出金	0		0		0		0		0	
		市債	0		0		0		0		0	
		その他 ()	0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0	
		一般財源	278		124		320		134		284	
14	人件費 (b)		81		81		84		84		92	
15	年間経費 (c)=(a)+(b)		359		205		404		218		376	
事業費の内訳			(単位：千円)									
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	
		日常生活用具扶助	R7	決算	134	134		R7	決算			
			R8	予算	284	284		R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
			R8	予算				R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
			R8	予算				R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
			R8	予算				R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
R8	予算				R8	予算						
		R7	決算				R7	決算				
		R8	予算				R8	予算				
Ⅳ. 事業の効率性												
単位当たり経費												
17		区 分	単位			令和6年度			令和7年度			
	①	給付件数	件			7			8			
	②	上記①にかかる年間経費	千円			205			218			
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位			29,286			27,250			
	算出についての説明等											
Ⅴ. 評価												
費用対効果に係る所見												
18	各区役所での申請に基づき、令和7年度はシルバーカー1件と電磁調理器7件の給付を行った。 給付件数は前年度と同程度であったが、用具ごとに基準額が異なるため、単位当たりコストが変動した。 低所得世帯の高齢者の在宅生活の継続に寄与する事業であり、費用対効果は高いと考える。											
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）											
19	在宅の要介護高齢者及びひとり暮らし等高齢者に対し、その福祉の増進を図るため、シルバーカーや電磁調理器を給付することによって、ひとり暮らし等高齢者のより安全かつ円滑な日常生活に寄与した。 以上から、本事業は基本計画の取組の方向性である「高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備」に寄与するものである。											
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）											
20	必要性	■ 高い □ 低い	本事業は、要介護高齢者やひとり暮らし等高齢者に対し日常生活用具を給付することで、ひとり暮らし等高齢者のより安全かつ円滑な日常生活に寄与するものである。電磁調理器、自動消火器、シルバーカーは介護保険の対象外であり、低所得世帯を対象とした本事業は、対象者が在宅での安全な生活を継続する上で有効な取組である。また、今後ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、事業継続の必要性・有効性は高い。									
	有効性	■ 高い □ 低い										